

ハラスメント「0 (ゼロ)」に向けて 【全文】

教職員みなさん、職場におけるセクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメント（以下「ハラスメント」という。）は、個人の尊厳を不当に傷つけるとともに、職場環境を悪化させる許されない行為です。

あなたの職場ではハラスメントにつながるような言動はありませんか。また、見過ごされていませんか。

大阪府教育委員会では、ハラスメントに関する教職員への啓発、研修及び相談体制の整備など、総合的・組織的な対策を講じています。

もし、あなたがハラスメントで悩んでいたら、また、あなたのまわりで悩んでいる人を見かけたら、身近な校内相談窓口のほか、ハラスメント専門相談（府教育センター内）、教職員人事課相談窓口、職員総合相談センターにすぐ相談してください。

ハラスメントが起きない職場にするためには、教職員一人ひとりがハラスメントについての理解を深め、「ハラスメントを起こさない、起こさせない」と意識することが大切です。

特に、校長等管理監督者には、先頭に立って、ハラスメントのない快適で働きやすい職場環境づくりを進めていただきたいと思います。

教職員全員で協力して、ハラスメント「0 (ゼロ)」の職場をめざしていきましょう。

平成27年7月16日

大阪府 教育委員会
教育長 向井 正博

府教委「ハラスメント「0 (ゼロ)」をめざして」 教育長名のメッセージを公表

府教委は7月16日、教育長名でメッセージ（ハラスメント「0 (ゼロ)」に向けて）を発表しました。
府労組連・大教組のねばり強いとりくみのもと、安全・安心の職場づくりに改善の一步です。

2010年、「パワーハラ防止指針」が府で制定され、各市町村にも広がってきました。しかし、指針が策定された中でも、

「パワーハラ、セクハラ、マタハラ」など、職場からの告発が後を絶たず、この間、府労組連・大教組は、「あらゆるハラスメントのない職場づくりに、使用者責任としての役割を果たせ」と強く求めてきました。

昨年度の府労組連夏季交渉で、府教委は、「知事部局に続いて、教育長名でメッセージを発出する準備をすすめている」と

回答を行いました。ところが、前中原教育長による教育委員会内での言語に絶する「人権侵害の事件」が明るみとなり、先送りとなっていました。大教組は、まず教育委員会自らが模範を示せと強く要求し、全教職員が意識できる何らかのとりくみを行うことを求め続けてきました。そのねばり強いとりくみの中で今回の教育長名によるメッセージとなりました。

泉北教組は、このメッセージを歓迎し、ハラスメントのない職場づくりをめざして今後も取り組みを進めます。



2015年度 泉北夏季教研（教職員はどなたでも参加できます。入場無料）

やっぱり授業で勝負でしょ！

山口 妙子 さん

（大阪教育大学非常勤講師、泉州看護専門学校非常勤講師、元東大阪市小学校教諭）



山口先生は、ご自宅を開放し、「まいどサロン」という若い教師のための教材研究会をご夫婦で開催されています。

若い先生たちを引きつける魅力ある取り組みは、毎日新聞でも紹介されました。

日時：8月30日（日）午後2：00～

場所：和泉市コミュニティセンター 1F 中集会室
（JR和泉府中駅から南東へ徒歩7分 和泉市役所隣）

「授業で勝負！」そんな熱い思いをもって、2学期を迎えませんか。参加、お待ちしております。

教職員の生活と権利を守るため、泉北教組に加入しましょう